

旭労災病院ニュース

病院情報誌 第 89 号 平成 25 年 4 月 1 日発行

発行所：旭労災病院

〒488-8885

尾張国市平子町北61番地

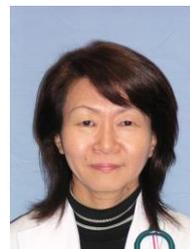
TEL 0561-54-3131

FAX 0561-52-2426

<http://www.asahih.rofuku.go.jp/>

注意欠陥多動症(ADHD)

小児科部長 安藤 郁子



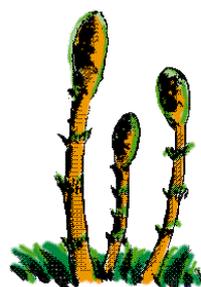
いつもチョコカ動き回り、好奇心いっぱいで見境なくいろいろなものに手をだし周囲の大人をハラハラさせる・・・これは元気な子供の微笑ましい姿です。そんな不注意、多動、衝動性の塊の子供らも幼稚園などの集団に入るころには、静かに先生の話の聞いたり、順番やルールを守ってお友達と遊べたりしてきます。しかしいつまでたっても、ちょっとした刺激に反応してじっとしてられない、興味のあることは集中できるがその他のことは集中でき

ない。順番が待てず割り込んで友達とけんかになる。忘れ物や無くし物が多く片付けができない、先生の話の聞き逃して指示に従えないなど、集中できない（不注意）、落ち着きがない（多動）、衝動的な子どもたちが5歳以降の子どもの5～6%いると言われています。これらの子どもは注意欠陥多動症（ADHD）という発達に問題のあるお子さんかもしれません。ADHDには多動性衝動性優勢型（ジャイアン）と、不注意優勢型（のび太くん）及び混合型があり、特に多動が目立たない不注意優勢型は、気づかれることが遅く小学校高学年から大人になってわかることもあります。この子らはいつも養育者や先生などから叱られたり、失敗を繰り返し友達ともうまくいかず、自己評価を下げ自分の居場所をなくしてしまううちに、高学年や思春期には大人や社会に反抗し問題行動を起こしたり、さらには触法行為を起こすことさえあります。また育て難さから虐待を受けるケースもあります。最近ではこのADHDに効果のある薬があり、この子らにかかわる大人たちの理解と適切な対応指導などでよりよい経過がとれるようになってきました。

4月から就園、就学などで新しい集団生活の中で、子どもらのいろいろな問題が明らかになってくる時期でもあります。そのようなお子さんの相談がございましたらご紹介ください。

病診連携室からのお知らせ

平成 25 年 2 月 28 日 (木) に、平成 24 年度第一回 旭労災病院病診連携システム運営協議会を開催いたしました。平成 24 年度の病診連携の報告を行うとともに、活発な意見交換を行いました。



新任医師紹介

リハビリテーション科医師

たかた たくや
高田 琢也

(平成 18 年愛知医科大学卒)

平成 25 年 2 月 1 日付

臨床研修医

しみず ゆうすけ
志水 祐介

(平成 25 年名古屋市立大学卒)

まつき としひさ
松木 稔久

(平成 25 年三重大学卒)

にしがき るりこ
西垣 瑠里子

(平成 25 年名古屋市立大学卒)

のむら よしみ
野村 佳美

(平成 24 年名古屋市立大学卒)

平成 25 年 4 月 1 日付

退任した医師

リハビリテーション科部長

長谷川 貴雄

呼吸器科医師

川口 裕子

糖尿病内分泌内科医師

蜂谷 真代

臨床研修医

大西 雅也

春田 真由美

平成 25 年 3 月 31 日